

平成29年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン:素直で明るい少人数の児童、意欲ある教師集団、学校への理解と期待の姿勢をもった保護者、協力的な地域人材を秋山小学校の教育環境の「よさ」として生かし、教職員が一丸となって児童がしっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る「明るい子、正しい子、強い子」の育成に取り組む。〔4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する〕

評価項目	具体的目標	方策・手立て	自己評価					成果と課題	評価者評価					学校関係者評価委員の意見
			4	3	2	1	総合		4	3	2	1	総合	
へ 明 る 徳 育 子 の 充 実 育 成	基本的な生活習慣の定着	1 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着を図る指導の充実 ・心からのあいさつを実行し、整った学習環境を整備し、時間を大切に活動を行う。		○				○ 毎朝のあいさつ運動は、規律ある学習態度の育成を通して、基本的な生活習慣の定着を図った。		○				3 ○ 基本的な生活習慣の定着や道德教育の充実などは、完璧に行われていると思われます。 ○ 家庭での関心が強いと思いますが、基本的な生活習慣を定着させることが難しい面もあります。
	望ましい人間関係の育成	2 生徒指導の三機能を生かした学級経営の推進 ・教職員が、児童に相手の立場や気持ちを意識した実践ができるように教育活動全体を通して指導し、人権教育の充実を図る。			○			○ 生徒指導の三機能を生かした授業実践では、自己存在感や自己決定の場を与え、共感適人間関係を育成する等の授業研究を重ねることで、分かる授業が実践できた。		○				
	道德教育の充実	3 道德の時間の完全実施と充実 ・学校参観日にあわせて、1月に道德参観日を実施する。 ・全職員で行う心の教育に取り組む。			○			○ 道德の時間の充実を図り、1月には道德の参観日に、人権を主題にした授業を実施した。 互いを思いやる心の教育を充実させることができた。		○				
	体験活動の充実	4 地域・家庭との連携を図った体験活動の充実 ・教育効果を高めるために、地域の素材や人材を生かした学習や活動を積極的に取り入れる。	○					○ 保護者や地域の方に理解と協力を得て、グラウンド交流会や茶摘みやものづくり等の様々な体験活動を実施することができた。		○				
へ 正 し 知 育 子 の 充 実 育 成	基礎・基本の学習内容の定着	5 授業時間を確保し、基礎・基本の学習内容の定着 ・授業のねらいを明確にし、達成するための指導の工夫を行う。 ・各種検定や調査結果の分析及び考察を行い、指導に生かす。		○				○ 分かりやすい授業を目指して、職員研修や教材研究に努めた。漢字検定やC R T 検査も全校で取り組み、少しずつ成果が現れてきている。		○				3 ○ 基本的な生活習慣の定着や道德教育の充実などは、完璧に行われていると思われます。 ○ 6年生の学期末テストは、範囲を決めて学習の習熟度に合わせて取り組まれるなど、目標の完全達成に向けた指導が行われたと思います。 ○ 自宅では、読書に自ら取り組むという姿が見られないので、刺激が足りないと思います。 ○ 6年生に関しては、中学を受験する児童がいることも知らせて、学期末テスト以外にもいろいろな問題を解けるように、月に1回など定期的に行って欲しいと思います。家庭での協力も惜しみません。
	個に応じた指導の充実	6 個に応じた指導の徹底 ・個別の指導計画を生かした指導と計画の改善を図る。 ・単元末テストの個人目標の設定と目標の完全達成を目指す。			○			○ 個別の指導計画を作成して、個々の習熟を図った。更に、個別指導の充実に向けた対策を進める。		○				
	読書の習慣化	7 読書教育の推進 ・朝の読書の時間を活用した「くしまっ子読もうよ100冊」を完読する。 ・PTAと連携した家読を推進する。			○			○ 朝読を実施した。学校図書館で、児童と教職員と一緒に読書することで児童により刺激を与えることができた。		○				
	期末テストの実施	8 定期的な期末テストの実施と習熟 ・夢実現のために必要な学力の向上と定着を図る。			○			○ 6年生で学期末テストを実施し、学習内容の習熟を図ることができた。		○				
へ 強 い 子 の 充 実 育 成	運動量の確保	9 体力向上プランに基づいた基礎体力の向上 ・教科体育や外遊びの充実で運動量の確保に努める。 ・年間を通した体力づくりの指導とその成果を発表する機会を設ける。		○				○ 体力向上プランに基づいた運動量を確保し、体力向上を図ることができた。一輪車、持久走、なわとび等で、技や記録に挑戦させながら成果を発表する機会を設けた。		○				3 ○ 一輪車や持久走、なわとび等、他校に見られない秋山独自の伝統の継承が図られており、体力向上は十分すぎるほど実践されていると思います。 ○ 身だしなみ等の習慣については、今ひとつではないかと思っています。 ○ 体力向上については、競争意識がないとありえないので、人数の多い学校と協力して実施して欲しい。 ○ 体力づくりの各発表会に向けての練習により、学校だけでなく、家での練習量も増えました。 ○ エチケット点検は、もっと厳しくして欲しい。
	健康習慣の定着	10 基本的な健康習慣の定着と家庭と連携した指導の推進 ・エチケット点検を継続して実施する。 ・「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」に取り組む。			○			○ 週に一度のエチケット点検を実施することにより、自分で身だしなみを整える習慣が付いてきている。 ○ 「早寝、早起き、朝ごはん」は定着してきている。		○				
	食育の推進	11 食育の推進 ・学期一回の「弁当の日」を実施する。 ・給食指導を通した栄養指導の充実を図る。			○			○ 学期ごとに、「弁当の日」を実施し弁当作りを充実させることができた。また、計画的に栄養教諭を活用した授業を実践することにより、食育を進めることができた。		○				
	保健学習の充実	12 養護教諭と連携した保健学習の充実 ・養護助教諭とチームティーチングによる保健の授業を実施する。 ・けがやインフルエンザの情報を共有し保健安全意識を高める指導を行う。			○			○ 学級活用の時間や業間の時間に、養護教諭を活用した授業を実践し、充実した健康学習を実施した。		○				
小 中 高 一 貫 教 育	小中連携、小小連携、交流学習の充実	13 小中連携、小小連携による集合学習の充実 「くしま学」を生かし故郷を愛し故郷に誇りをもつための学習の工夫と充実 ・「くしま学カルタ」の活用を図る。		○				○ 9年間を見通した系統性・一貫性のある教育活動に取り組んだ。また、北方小や大平小、市木小、大東小、福島高校との交流活動を進め児童により刺激を与えることができた。		○				4 ○ 他校との学習等については、小規模校故の宿命であり、今後も積極的に取り組んで欲しいと思っています。 ○ 子どもたちのよい刺激になるので、年に1回でもいいので、串間市外の学校とも交流を行って欲しいと思います。 ○ 平成30年度の運動会は、児童数6名になるので、他校と合同の運動会も考慮して欲しいと
				○				○ くしま学カルタは、年間を通して全校児童で取り組み、よい成果を上げた。		○				

育 の 推 進		学校の教育活動を広報し地域・家庭へ理解してもらうための取組の充実 ・学校参観や施設開放、情報提供等で地域に開かれた学校づくりに努める。	○					○ 参観日は8回実施した。秋山っ子祭りや運動会は、高齢者や地区の方々に広く参加を呼び掛けて、ふるさと秋山を生かした教育活動を進めた。	○					○ 参観日は8回実施した。秋山っ子祭りや運動会は、高齢者や地区の方々に広く参加を呼び掛けて、ふるさと秋山を生かした教育活動を進めた。 ○ 他校との交流で、子ども同士の交流もあり話をするようになった。
------------------	--	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--